

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、日頃より支所の活動・運営にご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。7月の総会に始まり、2003年度には講演会2回、見学会3回を開催することができました。海外の高齢者福祉事情、我国の地方都市における景観形成に関する講演会には多数の参加をいただき、東海支部の支援を受けて実施した青山高原の風力発電施設の見学会には県外からも参加がありました。その他の見学会も総会時のミニ講演会によって予備知識が得られたこともあり、たいへん充実していたように感じております。

三重支所は1984年9月に設立され、20周年を迎えました。2003年現在、会員数253人を擁するまでに発展してきました。運営委員会では皆様のご期待に応えられるように企画・運営すると同時に、会報やメールマガジンを発行して、情報発信に努めたいと考えています。

日本建築学会東海支部三重支所長 浦山益郎
(三重大学工学部建築学科・教授)

講演会報告

1. 林寛治氏講演会「わたしが考える設計と街づくり 山形県金山町の実践」

日時：2003年9月27日(土) 14:00~16:00
場所：三重県総合文化センター小ホール

2002年度の日本建築学会賞(業績賞)を受賞されました建築家の林寛治氏(林寛治設計事務所/Studio KA.代表)を講師に招き、賞の対象となりました山形県金山町のまちづくりに関する様々な試みについてお話を頂きました。参加人数は115名でした。

2. 桜井康弘氏講演会「デンマークのノーマライゼーションと住宅・住環境計画」

日時：2003年11月18日(火) 15:00~17:00
場所：三重大学工学部建築学科棟1番教室

デンマークにおけるノーマライゼーションの考え方とその実践である住環境計画について桜井康弘先生(福井大学大学院教授)より御講演を頂きました。自立した社会とはなにか、これからの日本の社会が何を目指すべきか、考えるヒントを頂きました。参加人数は64名でした。

見学会報告

1. 見学会「青山高原風力発電施設および三重大学風車実験場」

日時：2003年8月30日(土) 12:00~17:00

講師に清水幸丸先生(三重大学工学部機械工学科教授)を迎え、青山高原風力発電施設および三重大

学風車実験場の見学会が開催されました。当日はまずまずの天気で、高原の爽やかな風を感じつつ、最先端の風力発電施設や実験場を見学して参りました。参加人数は41名でした。

2. 見学会「遠州灘を望む浜岡原子力発電所5号機建設」

日時：2003年10月18日(土) 8:30~20:00

辻本雅春氏(中部電力)他に案内をお願いして、最新・最強の耐震性を誇る浜岡原子力発電所の5号機の建設現場を見学して参りました。当日は建物躯体の工事は終了し、機械設備工事の段階で、普段では見ることのできない炉心基部(写真)なども見学できました。見学後の質疑では、地震対策や廃棄物の処理方法、環境への影響の調査などについて活発な質疑が行われました。参加人数は31名でした。



3. 見学会「ミステリアスな町、名張探訪」

日時：2003年11月15日(土) 9:00~17:00

江戸川乱歩を生んだ町、名張の町並みを見学して参りました。案内人は池澤邦仁君(池澤アソシエイツ代表)、森本昭博君(森本建築事務所)、浦山益郎君(三重大学工学部建築学科教授)をお願いし、名張藤堂家の屋敷、かつての宿場町の町屋など、歴史と文化のかおる名張を再発見しました。参加人数は19名でした。



支所活動に関するお問い合わせ

事務局窓口：三重大学工学部建築学科事務室
(TEL:059-231-9666)

庶務幹事：三島直生(三重大学工学部建築学科)

E-mail:mishima@arch.mie-u.ac.jp